



2024年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年10月6日

上場会社名 株式会社サカタのタネ 上場取引所 東
コード番号 1377 URL <https://corporate.sakataseed.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂田 宏
問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員管理本部長兼経理部長 (氏名) 星 武徳 TEL 045-945-8800
四半期報告書提出予定日 2023年10月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

百万円未満切捨て

1. 2024年5月期第1四半期の連結業績（2023年6月1日～2023年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期第1四半期	19,163	8.0	2,335	△5.3	3,054	△5.1	1,959	△6.6
2023年5月期第1四半期	17,736	8.3	2,467	△25.6	3,217	△5.8	2,098	△4.9

（注）包括利益 2024年5月期第1四半期 9,077百万円（19.6%） 2023年5月期第1四半期 7,592百万円（111.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期第1四半期	44.19	—
2023年5月期第1四半期	47.32	—

（参考）持分法投資損益 2024年5月期第1四半期 △23百万円 2023年5月期第1四半期 △16百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年5月期第1四半期	169,740	145,572	85.5
2023年5月期	160,715	138,080	85.7

（参考）自己資本 2024年5月期第1四半期 145,181百万円 2023年5月期 137,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年5月期	—	20.00	—	35.00	55.00
2024年5月期	—	—	—	—	—
2024年5月期（予想）	—	25.00	—	30.00	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年5月期の連結業績予想（2023年6月1日～2024年5月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	41,000	7.9	5,400	△2.7	5,600	△14.0	3,800	△11.2	85.68
通期	84,000	8.7	11,000	0.7	11,000	△10.6	8,000	△15.7	180.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

「1株当たり当期純利益」の算定上の基礎となる期中平均株式数については、2023年5月31日現在の発行済株式数（自己株式数を除く）を使用しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2024年5月期1Q	47,410,750株	2023年5月期	47,410,750株
2024年5月期1Q	3,061,237株	2023年5月期	3,061,185株
2024年5月期1Q	44,349,532株	2023年5月期1Q	44,347,677株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はTDnetで同日開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載いたします。

※ 自己株式に関する情報

当社は、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が保有する当社株式（2024年5月期第1四半期連結会計年度末 54,600株、2023年5月期連結会計年度末 54,600株）を四半期連結財務諸表において自己株式に含めて計上しております。したがって、1株当たり四半期純利益を算定するための期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。（2024年5月期第1四半期連結累計期間 54,600株、2023年5月期第1四半期連結累計期間 54,852株）

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 四半期純利益 (百万円)	1株当たり 四半期純利益 (円)
2024年5月期 第1四半期	19,163	2,335	3,054	1,959	44.19
2023年5月期 第1四半期	17,736	2,467	3,217	2,098	47.32
前年同期比	1,426	△131	△162	△138	△3.13
増減率(%)	8.0%	△5.3%	△5.1%	△6.6%	—

当第1四半期連結累計期間(2023年6月1日から2023年8月31日まで)における世界経済及びわが国経済は、米国などでは底堅い動きが継続いたしましたが、世界的な物価高や金融引き締め継続、ロシアのウクライナ侵攻長期化、中国の不動産市場への懸念等、先行き不透明な状況がさらに強まりました。

このような状況のなか、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は、野菜種子と花種子の販売が安定して推移したことに加え、為替相場が大幅な円安になったことから、売上高は191億63百万円(前年同期比14億26百万円、8.0%増)となりました。品目別では、野菜種子はトマト、ペッパー、ネギ、花種子ではヒマワリが好調に推移しました。

営業利益は、販売費及び一般管理費が増加したことから、23億35百万円(前年同期比1億31百万円、5.3%減)となりました。主に営業利益の減益を受け、経常利益は30億54百万円(前年同期比1億62百万円、5.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は19億59百万円(前年同期比1億38百万円、6.6%減)となりました。

当第1四半期連結累計期間の海外連結子会社等の財務諸表項目の主な為替換算レートは、次のとおりです。主要通貨の米ドルとユーロに対して引き続き大幅な円安になったことにより、為替レートの変動による売上高への影響はプラス9億52百万円となりました。なお、海外連結子会社の決算日が連結決算日と異なるため、財務諸表項目を各四半期決算日末(3、6、9、12月末)の直物為替レートで換算し、その都度洗替を行っております。

	当第1四半期連結累計期間
米ドル	144.99円(136.69円)
ユーロ	157.56円(142.65円)

注：()内は前年同期の換算レート

セグメント別の業績の概要は次のとおりです。

①国内卸売事業

国内卸売事業は、作付面積の減少傾向継続に加え、春の天候不順による菜園用苗の販売不振や夏の記録的な酷暑の影響による需要低迷により、野菜種子・花種子は低調に推移しました。資材も値上がり前の早期調達特需の反動により減少し、前年同期比減収となりました。

品目別では、野菜種子は、主力品種「王様トマト」の20周年キャンペーンを大規模展開したトマトが堅調に推移しましたが、ブロッコリー、キャベツが減少しました。花種子はストックが増加しましたが、パンジーなどが減少しました。

これらの結果、外部顧客への売上高は39億32百万円(前年同期比1億65百万円、4.0%減)、営業利益は22億3百万円(前年同期比1億35百万円、5.8%減)となりました。

②海外卸売事業

海外卸売事業は、北中米を除くすべての地域において現地通貨ベースで増収となったことに加え、為替レートも全般的に円安となったことから、前年同期比、大幅な増収となりました。

地域ごとの現地通貨ベースの業績では、北中米は、ブロッコリーやトマト、ヒマワリなど主力商品が好調に推移しましたが、カボチャ、ビートなどが減少し、減収となりました。欧州中近東は、ブロッコリーやトルコギキョウが減少しましたが、北アフリカ（モロッコ、アルジェリア）地域においてトマトが好調に推移したことなどから、増収となりました。南米は、ブロッコリーが減少しましたが、トマト、ペッパー、トルコギキョウなどが好調に推移し、増収となりました。アジアは、ブロッコリーが減少しましたが、ネギ、トマト、ヒマワリなどが増加し、増収となりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は130億95百万円（前年同期比15億13百万円、13.1%増）、営業利益は29億59百万円（前年同期比1億29百万円、4.6%増）となりました。

③小売事業

ガーデンセンター横浜は酷暑や余暇の多様化による客数減少により、通信販売分野は大雨や酷暑など天候不順の影響により、それぞれ前年同期比減収となりました。量販店向けのホームガーデン分野では、苗木・資材の売上は増加しましたが、野菜種子・花種子が減少し、前年同期比減収となりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は12億15百万円（前年同期比98百万円、7.5%減）、営業損益は1億3百万円悪化し、97百万円の損失（前年同期は6百万円の営業利益）となりました。

④その他事業

造園緑花分野は、資材や燃料の価格高騰に加え、今夏の酷暑で一部納品の中止・延期が発生する厳しい状況下にありましたが、民間及び公共工事での大型案件が竣工したことにより、前年同期比増収となりました。

これらの結果、外部顧客への売上高は9億20百万円（前年同期比1億78百万円、24.0%増）、営業利益は38百万円（前年同期比32百万円、566.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

	前連結会計年度末	当第1四半期 連結会計期間末	増減
総資産（百万円）	160,715	169,740	9,025
純資産（百万円）	138,080	145,572	7,492
自己資本比率（%）	85.7%	85.5%	△0.2%
1株当たり純資産（円）	3,104.40	3,273.59	169.19
借入金の残高（百万円）	1,465	1,664	198

(資産)

総資産は、1,697億40百万円（前連結会計年度末比90億25百万円増加）となりました。

- ・流動資産：商品及び製品の増加などにより43億50百万円増加
- ・固定資産：建物及び構築物（純額）、投資有価証券の増加などにより46億75百万円増加

(負債)

負債合計は、241億68百万円（前連結会計年度末比15億33百万円増加）となりました。

- ・流動負債：未払法人税等の増加などにより3億4百万円増加
- ・固定負債：繰延税金負債の増加などにより12億29百万円増加

(純資産)

純資産合計は、1,455億72百万円（前連結会計年度末比74億92百万円増加）となりました。

- ・株主資本：親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより4億5百万円増加
- ・その他の包括利益累計額：為替換算調整勘定の増加などにより70億97百万円増加

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月期決算短信（2023年7月14日発表）で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,942	29,040
受取手形、売掛金及び契約資産	18,352	18,592
商品及び製品	36,345	39,957
仕掛品	4,604	4,312
原材料及び貯蔵品	977	1,063
未成工事支出金	166	56
その他	7,136	7,889
貸倒引当金	△388	△424
流動資産合計	96,137	100,488
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,083	39,488
減価償却累計額	△22,679	△23,558
建物及び構築物(純額)	14,403	15,929
機械装置及び運搬具	18,762	19,995
減価償却累計額	△12,775	△13,651
機械装置及び運搬具(純額)	5,986	6,344
土地	13,949	14,194
建設仮勘定	2,647	2,099
その他	8,759	9,578
減価償却累計額	△5,377	△5,855
その他(純額)	3,382	3,723
有形固定資産合計	40,369	42,291
無形固定資産	4,028	4,241
投資その他の資産		
投資有価証券	16,261	18,299
長期貸付金	22	21
繰延税金資産	2,615	2,678
その他	1,292	1,732
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	20,179	22,719
固定資産合計	64,577	69,252
資産合計	160,715	169,740

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,336	4,953
短期借入金	929	1,052
未払法人税等	1,155	1,517
その他	8,012	8,216
流動負債合計	15,434	15,738
固定負債		
長期借入金	536	611
繰延税金負債	2,092	2,629
退職給付に係る負債	1,607	2,003
役員退職慰労引当金	47	40
役員株式給付引当金	151	159
その他	2,765	2,984
固定負債合計	7,200	8,429
負債合計	22,634	24,168
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,500	13,500
資本剰余金	10,793	10,793
利益剰余金	108,467	108,872
自己株式	△5,386	△5,386
株主資本合計	127,373	127,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,240	8,578
為替換算調整勘定	3,387	9,132
退職給付に係る調整累計額	△322	△308
その他の包括利益累計額合計	10,305	17,402
非支配株主持分	401	390
純資産合計	138,080	145,572
負債純資産合計	160,715	169,740

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
売上高	17,736	19,163
売上原価	6,711	7,343
売上総利益	11,025	11,819
販売費及び一般管理費	8,557	9,483
営業利益	2,467	2,335
営業外収益		
受取利息	112	169
受取配当金	195	237
受取賃貸料	35	35
為替差益	503	215
正味貨幣持高に関する利得	—	9
その他	80	119
営業外収益合計	927	787
営業外費用		
支払利息	14	17
持分法による投資損失	16	23
正味貨幣持高に関する損失	88	—
その他	57	27
営業外費用合計	177	68
経常利益	3,217	3,054
特別損失		
減損損失	5	1
特別損失合計	5	1
税金等調整前四半期純利益	3,211	3,053
法人税等	1,090	1,078
四半期純利益	2,121	1,975
非支配株主に帰属する四半期純利益	22	15
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,098	1,959

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年6月1日 至 2022年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)
四半期純利益	2,121	1,975
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,166	1,337
為替換算調整勘定	4,284	5,748
退職給付に係る調整額	9	14
持分法適用会社に対する持分相当額	11	1
その他の包括利益合計	5,471	7,102
四半期包括利益	7,592	9,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,559	9,057
非支配株主に係る四半期包括利益	32	20

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当社及び主たる国内連結子会社の税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」)

当社は、2018年8月28日開催の第77回定時株主総会決議に基づき、当社の取締役(社外取締役は除く。)並びに上席執行役員及び執行役員(以下「取締役等」という。)に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下「本制度」という。)を導入しております。

1. 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」という。)を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規程に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下「当社株式等」という。)が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は次の通りです。

	帳簿価額(百万円)	株式数(株)
前連結会計年度末	210	54,600
当第1四半期連結会計期間末	210	54,600

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2022年6月1日至2022年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	4,098	11,581	1,314	16,994	742	17,736	—	17,736
セグメント間の内部売上高又は振替高	372	578	—	951	56	1,007	△1,007	—
計	4,470	12,160	1,314	17,945	798	18,744	△1,007	17,736
セグメント利益	2,338	2,830	6	5,175	5	5,181	△2,714	2,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益の調整額△2,714百万円は、棚卸資産の未実現利益消去額△386百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△2,327百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門、サプライチェーン部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2023年6月1日至2023年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,932	13,095	1,215	18,242	920	19,163	—	19,163
セグメント間の内部売上高又は振替高	175	933	—	1,109	56	1,165	△1,165	—
計	4,108	14,028	1,215	19,352	976	20,328	△1,165	19,163
セグメント利益又は損失(△)	2,203	2,959	△97	5,066	38	5,104	△2,768	2,335

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△2,768百万円は、棚卸資産の未実現利益消去額△284百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用等△2,483百万円が含まれております。全社費用等は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の研究部門、サプライチェーン部門及び親会社本社の管理部門に係る費用等であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(収益認識関係)

当社グループの売上高は、顧客との契約から生じる収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別及び地域別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第1四半期連結累計期間（自 2022年6月1日 至 2022年8月31日）

財又はサービスの種類別

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計		
野菜種子	2,753	9,373	464	12,591	—	12,591
花種子	375	1,941	109	2,425	—	2,425
苗木	309	62	80	453	—	453
資材	635	13	646	1,295	—	1,295
その他	24	190	13	228	742	970
顧客との契約から生じる 収益	4,098	11,581	1,314	16,994	742	17,736
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,098	11,581	1,314	16,994	742	17,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

地域別

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計		
日本	4,098	—	1,314	5,412	742	6,154
米国	—	2,099	—	2,099	—	2,099
北中米（米国除く）	—	974	—	974	—	974
欧州・中近東	—	3,713	—	3,713	—	3,713
アジア	—	3,005	—	3,005	—	3,005
南米	—	1,154	—	1,154	—	1,154
その他	—	634	—	634	—	634
顧客との契約から生じる 収益 (注) 2	4,098	11,581	1,314	16,994	742	17,736
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,098	11,581	1,314	16,994	742	17,736

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. 顧客との契約から生じる収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年6月1日 至 2023年8月31日)

財又はサービスの種類別

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計		
野菜種子	2,678	10,400	386	13,465	—	13,465
花種子	345	2,331	96	2,773	—	2,773
苗木	292	71	83	447	—	447
資材	597	0	642	1,240	—	1,240
その他	19	291	5	315	920	1,235
顧客との契約から生じる 収益	3,932	13,095	1,215	18,242	920	19,163
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,932	13,095	1,215	18,242	920	19,163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

地域別

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計
	国内卸売 事業	海外卸売 事業	小売事業	計		
日本	3,932	—	1,215	5,147	920	6,067
米国	—	1,908	—	1,908	—	1,908
北中米(米国除く)	—	1,266	—	1,266	—	1,266
欧州・中近東	—	4,146	—	4,146	—	4,146
アジア	—	3,675	—	3,675	—	3,675
南米	—	1,335	—	1,335	—	1,335
その他	—	761	—	761	—	761
顧客との契約から生じる 収益 (注) 2	3,932	13,095	1,215	18,242	920	19,163
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,932	13,095	1,215	18,242	920	19,163

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、官公庁・民間向けの造園工事の施工、人材派遣業であります。

2. 顧客との契約から生じる収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社グループは、2023年9月22日付でSana Seeds B.V.の全株式を取得し、連結子会社といたしました。

1. 企業結合の概要

(1) 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 Sana Seeds B.V.

事業の内容 野菜種子の開発・販売

(2) 企業結合を行った主な理由

当社グループは現在、果菜類のポートフォリオの充実を図っており、世界的に大きな市場があるキュウリの強化に努めております。当社グループのSakata Vegetables Europe S.A.S.では、従来から同社の品種を仕入れて販売しておりました。本出資により当社グループのキュウリの研究開発を加速させるとともに、欧州地域でのキュウリビジネスの強化と企業価値の向上に資すると判断し、本株式を取得することといたしました。

(3) 企業結合日

2023年9月22日(みなし取得日 2023年9月30日)

(4) 企業結合の法的形式

株式取得

(5) 結合後企業の名称

Sana Seeds B.V.

(6) 今回取得した議決権比率

100%

(7) 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社の完全子会社であるEuropean Sakata Holding S.A.S.を通じて、現金を対価として当該株式を取得したことによるものであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	629百万円
取得原価		629百万円

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等 20百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。